

これまでご意見のあった必要な取組について、分類ごとに載せています。

しりょう
資料 3

かんれんじぎょう
関連事業についてのご意見

かしょう い し そつうじょうれいけんとうぶかい
(仮称) 意思疎通条例検討部会

れいわ ねん がつ にち かよう
令和3年10月26日 (火)

いし つたえる さまざま しゅだん えらべる とりくみ 意思を伝えるための様々な手段を選べるようにするための取組

○手話通訳者が増えてほしい。

○手話講習会や学校教育の場など、

手話を学べる場所を作り社会の中で手話を広めることが必要

○視覚障害者の場合、直接話して理解するということが重要

○コミュニケーションボードを使って「はい/いいえ」で答えられるようにするとよい。

○文字でなく具体的に内容が分かる道具があるとよい。例えば、コンビニで「温める
・あたためない
/温めない」のカードなど。

分類の一つ目として、コミュニケーションを取るための色々な手段（コミュニケーションボード、手話通訳など）を選べるようにするための取組について載せています。（2～3ページ）

いし つたえる さまざま しゅだん えらべる とりくみ 意思を伝えるための様々な手段を選べるようにするための取組

- コンビニなどで、注文、レジ袋の有無や大きさなどを指差して伝えられるメニュー表があるとよい。
- 手続きの書類の記入例や絵を使った説明書があるとよい。
- 言葉以外で意思を確認することが必要
- 障害程度に応じた分かりやすいチラシなどによる情報提供があるとよい。

い し そつう しゅだん はば ひろげる あいしーていー かつよう とりくみ
意思疎通の手段の幅を広げるための I C T を活用するための取組

ぶんるい 分類の二つ目として、コミュニケーションをより取りやすく
するために あいしーていー I C T (スマホを使う、動画で伝えるなど) を
やくだてる 役立てるための取組について載せています。(4～5ページ)

- タブレットでコミュニケーションがとれるアプリを活用することが必要
- 視線入力などの技術を利用できるようにすることが必要
- タブレットを使いこなせるようにする等、I C T の支援をしてくれる人がいればよい。
- タッチパネルでお会計ができるとよい。
- 動画で手続きの仕方を知らせてくれるとよい。

意思疎通の手段の幅を広げるためのICTを活用するための取組

○^{しよしんしゃ}初心者でも^{まなびやすいしせん}学びやすい^{にゆうりよく}視線入力など^{あいしーていー}ICTの^{かつよう}活用についての^{こうざ}講座があるとよい。

○^{じぶん}自分の^{ようふく}洋服の色を^{いろ}確認する^{かくにん}アプリや、^{しゃしん}スマホで^{とってともだち}写真を撮って^{きく}友達に^{かつよう}聞くとなど活用できると^{べんり}便利。スマホが^{にがて}苦手な^{ひと}人にとっては、^{そうだんさき}相談先があるとよい。

○^{しょうがいしゃ}障害者の^{かぞく}家族も^{こうれいか}高齢化が進んでおり、^{すすんで}ICTを^{あいしーていー}使えていない^{つかえて}人が多い。^{ひと}導入の^{おおい}ハードルが^{どうにゆう}超えられるよう、^{こえられる}その^{ひよう}費用の^{めやす}目安などを^{しめして}示してもらうなど、^{そうだんまどぐち}相談窓口があるとよい。

○^{わいふあい}Wi-Fiを^{むりよう}無料で^{つかえるばしょ}使える場所があると、^{つかい}スマホも^{つかい}使いやすい。

さまざま しゅだん しょうがいとくせい りかい ひろめる とりくみ
様々な手段があることや障害特性の理解を広めるための取組

○「^{みみ}耳マーク」など^{じぶん}自分の^{しょうがい}障害を^{しらせやすく}知らせやすく
する^{ほうほう}方法をもっと^{ふきゅう}普及してほしい。

○コンビニやクリニックなどで「^{みみ}耳マーク」を^{かつよう}活用してほしい。

○「ヘルプマーク」への^{りかい}理解が^{しんとう}浸透してないので、もっと^{しんとう}浸透させてほしい。

○コミュニケーションボードがあるということを^{しらせる}知らせるステッカーをお店の
^{いりぐち}入り口に^{はって}貼っておくとよい。

○^{じぶんよう}自分用のコミュニケーションボードを^{つくり}作りやすいように、データをダウンロードし
やすくしておくなどの^{とりくみ}取組が^{ひつよう}必要

^{ぶんるい}分類の^{みつめ}三つ目として、^{ひと}コミュニケーションをとる人どうし
で、^{ひと}その人が^{つかう}使う^{ほうほう}コミュニケーション方法や^{とくちょう}特徴（^{みみ}耳が
^{きこえない}聞こえない、^{じぶん}自分の^{きもち}気持ちを^{いう}言うのが^{にがて}苦手など）を^{りかい}理解
^{しあう}し合うための^{とりくみ}取組について^{のせて}載せています。（6～9ページ）

さまざま しゅだん しょうがいとくせい りかい ひろめる とりくみ
様々な手段があることや障害特性の理解を広めるための取組

- ^{てつどう}鉄道やバスなどの^{こうきょうこうつうじぎょうしゃ}公共交通事業者に^{りかい}理解してもらえるような^{とりくみ ひつよう}取組が必要
- ^{しょうてんがい}商店街などに^{しょうがいしゃ}障害者が^{でむいて}出向いて、^{いけん}意見を^{かわしながら}交わしながら^{おこなう}行う^{とりくみ ひつよう}取組が必要
- ^{しょうがい}障害の有無にかかわらず^{うむ}共通の^{きょうつう}関心ごとである^{かんしん}防災訓練などの^{ぼうさいくねん}場面での^{ばめん}取組が^{とりくみ}必要
- ^{ひつよう}必要
- ^{いっしょ}一緒に^{てつづきほうほう}手続き方法を^{かんがえて}考えてくれる^{ひと}人がいるとよい。
- ^{ひとり}一人の^{しかくしょうがいしゃ}視覚障害者の^{たいおう}対応に^{じかん}時間がかかることを^{りかい}理解してもらうための^{とりくみ ひつよう}取組が必要

さまざま しゅだん しょうがいとくせい りかい ひろめる とりくみ
様々な手段があることや障害特性の理解を広めるための取組

きんじょ こえ かけあつて ささえあえる しゃかい
○近所で声を掛け合って支え合える社会になってほしい。

しょうがいしゃだんたい がっこう いって しょうがい まなぶきかい ひつよう
○障害者団体などが学校に行き、障害について学ぶ機会が必要

ちいさいころ しょうがい うむ いっしょ そだつかんきょう ひつよう
○小さい頃から、障害の有無にかかわらず一緒に育つ環境が必要

しょうがいしゃこよう しょうがいとくせい たいおうほうほう けんしゅう ひつよう
○障害者雇用において、障害特性や対応方法などの研修が必要

ほうほう しょくばかんきょう はいりよ しごと つづけられる とりくみ ひつよう
○コミュニケーション方法や職場環境への配慮など、仕事を続けられる取組が必要

さまざま しゅだん しょうがいとくせい りかい ひろめる とりくみ
様々な手段があることや障害特性の理解を広めるための取組

ひとり しって じっさい きかい ひつよう おもう こうりゅう
○一人ひとりを知ってもらうには、実際にかかわる機会が必要だと思う。交流するこ
とで理解が深まる。

こたえ おしえる まなぶきかい おもう かんがえる
○答えばかり教えるのではなく、学ぶ機会がほしい。どう思うか、どう考えるか
話し合える場がほしい。

じぶん きもち いえる じかん じゅうぶん あんしん はなせる そうだんさき ひつよう
○自分の気持ちを言えるように、時間を十分とって安心して話せる相談先が必要